

令和6年度 墨田区立小梅小学校 学校経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 校長 増淵 裕美

学校教育目標	◎深く考える子 ○思いやりのある子 ○たくましい子
目指す学校像	小梅小学校に関わる人にとって「魅力ある学校」を創造する ～ 子供たち一人一人が輝き、「夢」や「希望」がもてる学校へ ～
目指す児童像	①意欲をもって自らが学び、地道に努力し、自分の考えを高めようとする子 ②自分を大切に、友達のよさを認め、相手の気持ちを考えて行動しようとする子 ③心身ともに健康で、最後まで粘り強く取り組む子
目指す教師像	明るく元気で爽やかに毎日を送れる、小梅小学校の教師集団であり続けたい

○令和6年度 学校経営計画における重点内容

- ①確かな学力の定着と向上・・・「分かる」、「できる」、「楽しい」つまり「学びがよい」のある授業を実践
- ②豊かな心を育成する・・・いじめや偏見、差別をなくそうとする意識と態度の育成
- ③体を鍛え、健康に生活する力を培う・・・耐える心・我慢する心の育成「もう無理」と思ったところから「もう1歩・もう1回」頑張れる体と心づくり
- ④安心・安全な教育環境づくり・・・「小梅スタンダード7」、「小梅の子供の一日」等、学校のきまりを徹底し、人権教育の視点に立った教育活動 「心の安定」なくして「生活の安定」、「学力の向上」はない
- ⑤地域に貢献すべき学校・教職員であることの自覚・・・地域・保護者と時間や思いを共有

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価			
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等	
各教科指導等	確かな学力を育てるための、分かりやすい授業を実施する。 ○授業や朝学習、家庭学習等で繰り返し学習を行い、基礎学力の習熟を図る。	○1時間の授業は「めあて」が明確であり、かつ振り返りを確実に行う授業。	4	教ア「授業でめあてと振り返りを実践している」と肯定的な回答90%以上	4	4	児アで「学習は楽しく・分かりやすい」と肯定的な回答 80%以上	4	児童の中にめあてがしっかりと入っていないとまとめや振り返りにつながらず、単元の終わりに振り返りを書かせることにより、本時の学習の理解度を見取ることができた。	A	A	学力向上の取組を全校で取り組んでいることが学力向上につながっている。学校の教育目標に「深く考える子」があるが、より深く考え続ける子供も育成してほしい。
			3	教ア「授業でめあてと振り返りを実践している」と肯定的な回答80%以上		3	児アで「学習は楽しく・分かりやすい」と肯定的な回答 70%以上					
			2	教ア「授業でめあてと振り返りを実践している」と肯定的な回答70%以上		2	児アで「学習は楽しく・分かりやすい」と肯定的な回答 60%以上					
			1	教ア「授業でめあてと振り返りを実践している」と肯定的な回答70%未満		1	児アで「学習は楽しく・分かりやすい」と肯定的な回答 60%未満					
	特別な支援を必要とする子供に対して、組織的な支援等を行う。 ○生活指導上の課題を、毎週金曜日を定例会とし、情報交換を行うとともに、同一歩調での指導を徹底する。	○特別支援教育の充実を図ため、毎月1回の特別支援校内委員会とまなびの教室との情報交換を行う。	4	教アで「校内やまなびの教室と児童の支援が共有できている」と肯定的な回答80%以上	4	4	児アで「学校生活は楽しいですか」の項目で肯定的な回答90%以上	3	校内委員会の実施により、情報を共有することができるようになってきているが、学級で実施できる具体的な方法や手だてなどの共有ができていない。特別支援の視点をもった指導法のスキルの獲得が必要。	B	B	小梅小の先生は、子供をよく見て、一人一人に寄り添った指導をしてもらっている。特別な支援を必要とする子供に対する組織的な支援は引き続き丁寧に行っていた。
			3	教アで「校内やまなびの教室と児童の支援が共有できている」と肯定的な回答70%以上		3	児アで「学校生活は楽しいですか」の項目で肯定的な回答80%以上					
			2	教アで「校内やまなびの教室と児童の支援が共有できている」と肯定的な回答60%以上		2	児アで「学校生活は楽しいですか」の項目で肯定的な回答70%以上					
			1	教アで「校内やまなびの教室と児童の支援が共有できている」と肯定的な回答60%未満		1	児アで「学校生活は楽しいですか」の項目で肯定的な回答70%未満					
	教員の指導力・授業力の向上のための、組織的な取組等を行う。 ○研究授業をとおして、授業改善を行い、充実を図る。	○各学年、専科の研究授業7回と管理職による授業観察3回を設定し授業力向上を目指す。また、教員同士で見合える環境を作り授業後のリフレクションにも参加して授業力を養う。	4	教アで「研究授業をとおして、授業改善を図った」と肯定的な回答100%	3	4	保アで「深く考えずんで学習する子に育っている」と肯定的な回答80%以上	3	研究授業6回について協議会を開き、授業後、よかった点、疑問点、改善点を話し合い、よりよい指導法を共有している。研究授業以外の日常の授業を見る仕組みが弱い。	B	A	授業参観をしたときに、工夫して授業を進めていた。研修を熱心に行い、互いに見合いながら、よりよい授業を行うよう継続してほしい。来年度の研究発表会も参観できるとよい。
			3	教アで「研究授業をとおして、授業改善を図った」と肯定的な回答80%以上		3	保アで「深く考えずんで学習する子に育っている」と肯定的な回答70%以上					
			2	教アで「研究授業をとおして、授業改善を図った」と肯定的な回答70%以上		2	保アで「深く考えずんで学習する子に育っている」と肯定的な回答60%以上					
			1	教アで「研究授業をとおして、授業改善を図った」と肯定的な回答70%未満		1	保アで「深く考えずんで学習する子に育っている」と肯定的な回答60%未満					
生活指導等	いじめ、不登校等の予防や解決に向けた組織的な取組等を行う。 ○本校の生活指導上の最重要課題に位置付け、いじめ、不登校の未然防止、早期発見、早期対応に努める。	○児童のトラブルをその日のうちに保護者に伝え、早期対応・早期解決を目指す。トラブル対応は担任一人で解決しようとせず、複数の教員を交え保護者と話し合いをもつ。	4	教アで「問題行動に対し、早期対応・早期解決に努めている」と肯定的な回答100%	4	4	保アで「楽しく学校生活を送っている」と肯定的な回答80%以上	4	担任と保護者だけではなく、学年、養護教諭、SCと連携して、情報収集をし、複数で対応している。時には、SSWにもつなげ、学校、家庭が同じ見解で対応できるようにしている。	A	A	学校の情報を、民生・児童委員と共有理解の上で、地域でも見守り、町会行事等でも気に掛けていくようにしたい。登下校時の様子も気になることは、家庭でも注意していくことが大事。
			3	教アで「問題行動に対し、早期対応・早期解決に努めている」と肯定的な回答90%以上		3	保アで「楽しく学校生活を送っている」と肯定的な回答70%以上					
			2	教アで「問題行動に対し、早期対応・早期解決に努めている」と肯定的な回答80%以上		2	保アで「楽しく学校生活を送っている」と肯定的な回答60%以上					
			1	教アで「問題行動に対し、早期対応・早期解決に努めている」と肯定的な回答80%未満		1	保アで「楽しく学校生活を送っている」と肯定的な回答60%未満					
	基本的な生活・社会習慣、人間関係づくりのための心の教育等に取り組む。 ○基本的な生活習慣「4つのあ（挨拶・集まり・後片づけ・安全）」の確立に努める。	○校長講話や道徳の時間、学校行事などをとおして、自己の生活を振り返ることができるようにする。	4	教ア「4つのあ」を意識させた指導に努めている」と肯定的な回答100%	4	4	児アで「挨拶・集まり・後片づけ・安全」の肯定的な回答90%以上	3	校外学習等では、「4つのあ」を掲げることにより、意識して行動することができた。学校内では、挨拶できているが、旗当番の保護者や地域の方には、なかなか効果がみられない。	B	A	土曜授業の際、おやじの会の見守り活動、朝の挨拶を行っているので、地域の方への挨拶も引き続き児童が元気にできるよう今後に期待したい。大人からもすすんで挨拶するよう努める。
			3	教ア「4つのあ」を意識させた指導に努めている」と肯定的な回答90%以上		3	児アで「挨拶・集まり・後片づけ・安全」の肯定的な回答80%以上					
			2	教ア「4つのあ」を意識させた指導に努めている」と肯定的な回答80%以上		2	児アで「挨拶・集まり・後片づけ・安全」の肯定的な回答70%以上					
			1	教ア「4つのあ」を意識させた指導に努めている」と肯定的な回答80%未満		1	児アで「挨拶・集まり・後片づけ・安全」の肯定的な回答70%未満					
	危機回避能力の育成や子供の安全を確保するための取組等を行う。 ○年間11回の避難訓練を行うとともに、緊張感をもって取り組み、自分の命は自分で守る意識を高める。	○安全指導日での毎月の指導や朝の会・帰りの会での「一声指導」を実施	4	教ア「月の重点を基に、一声指導の実施状況」毎日	3	4	保アで「安全対策は適切である」と肯定的な回答80%以上	4	帰りの会の声掛けや、下校で見送りを徹底した。避難訓練は、一時避難だけではなく、二次避難場所として、ミズマチまで、全校での避難を実施した。	B	A	「安全・安心」を踏まえた経営方針が徹底されている。児童の安全を守りたい気持ちは、学校、保護者、地域も一緒である。共に考え、連携していきたい。
			3	教ア「月の重点を基に、一声指導の実施状況」週2、3回		3	保アで「安全対策は適切である」と肯定的な回答70%以上					
			2	教ア「月の重点を基に、一声指導の実施状況」週1回		2	保アで「安全対策は適切である」と肯定的な回答60%以上					
			1	教ア「月の重点を基に、一声指導の実施状況」月2回以下		1	保アで「安全対策は適切である」と肯定的な回答60%未満					

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
学校の管理運営	経営方針に基づいた、組織的な教育活動・学校運営等を行う。 ○校内環境を整備し、児童が落ち着いて学習に取り組み、安心・安全に生活できるようにする。	○よい生活の習慣化（学習・生活・健康）をめざし、全教職員同一歩調で取り組む。 「小梅スタンダード7」や「小梅の子供の一日」、「学校のきまり」の徹底する。	4	教ア「各種のきまりを基に、指導をしている」と肯定的な回答100%	4	4	児アで学習・生活習慣についての項目で肯定的な回答90%以上	3	児童の実態に応じて、年度末のきまりの見直しをしたり、毎週の生活指導夕会で、全教職員の共通理解をしたりしている。全教職員が同一歩調で取り組んではいるが、全児童に徹底までは至っていない。	落ち着いた学習に取り組むという点で、学習規律の徹底や学習形態の工夫がさらに必要である。学習については、児童が主体的に考え、学び合うことができるような授業改善を行っていく。	B	A	先生方が協力し合って、行動されており、よい学校運営がなされている。小梅小のきまりを意識して、落ち着いた教育活動を行えるよう、引き続きお願いしたい。
			3	教ア「各種のきまりを基に、指導をしている」と肯定的な回答90%以上		3	児アで学習・生活習慣についての項目で肯定的な回答80%以上						
			2	教ア「各種のきまりを基に、指導をしている」と肯定的な回答80%以上		2	児アで学習・生活習慣についての項目で肯定的な回答70%以上						
			1	教ア「各種のきまりを基に、指導をしている」と肯定的な回答80%未満		1	児アで学習・生活習慣についての項目で肯定的な回答70%未満						
	子供の実態に合わせた教育目標設定及び学校評価等を適切に行う。 ○学力・体力向上を目指し、組織的・計画的に行っていく。	○振り返りシートやミライシードを活用し、学力の向上に努めたり、一校一取組、一学級一取組を基に、運動を行い体力維持に努めたりする。	4	教ア「児童の実態を基に、学力や体力の向上に努めている」と肯定的な回答90%以上	4	4	児アで「学習の振り返りや体力づくりに励んでいますか」の項目で肯定的な回答90%以上	3	学習では、振り返りシートやミライシードを活用しながら、日常的に復習し、基礎・基本の定着に努めた。	学力は、既習事項を定着させ、自力解決ができるようにする。体力は、全校で体力づくりができる内容を実施していく。休み時間の校庭利用学年を増やし、毎日体が動かせる環境にしていく。	B	B	学力は、自主学习等もあり、学習する習慣がついている。体力は、習い事で運動している子と、していない子とで差がある。学校でも、体力の取組をお願いしたい。
			3	教ア「児童の実態を基に、学力や体力の向上に努めている」と肯定的な回答80%以上		3	児アで「学習の振り返りや体力づくりに励んでいますか」の項目で肯定的な回答80%以上						
			2	教ア「児童の実態を基に、学力や体力の向上に努めている」と肯定的な回答70%以上		2	児アで「学習の振り返りや体力づくりに励んでいますか」の項目で肯定的な回答70%以上						
			1	教ア「児童の実態を基に、学力や体力の向上に努めている」と肯定的な回答70%未満		1	児アで「学習の振り返りや体力づくりに励んでいますか」の項目で肯定的な回答70%未満						
	適切な教育活動が行える教育環境・設備等を整える。 ○タブレット端末を活用した授業を実施する。	○タブレット端末を活用した授業を実施、個別の考えを記録し、友達との考えを共有できる授業を行う。	4	教ア「タブレット端末を積極的に実践している」と肯定的な回答90%以上	4	4	児アで「タブレット端末で自分の考えをまとめることができる」と肯定的な回答90%以上	4	教員のタブレット端末を活用した授業展開も日常化しており、児童間の共有も活発である。ロイロノートを活用して、自分の考えをまとめ、友達と意見を比べながら考える学習ができています。	タブレット端末とノートの活用は、学習内容に応じて効果的に取り入れていく。一人1台タブレット端末が文房具のように扱え、効果的な学習の道具となるように教員研修を充実していく。	B	A	タブレット端末を十分に活用してよい。振り返りもタブレット教材を使い、個々で進められる点が良い。学校と同様、家庭でのタブレット使用時のルールを徹底していきたい。
			3	教ア「タブレット端末を積極的に実践している」と肯定的な回答80%以上		3	児アで「タブレット端末で自分の考えをまとめることができる」と肯定的な回答80%以上						
			2	教ア「タブレット端末を積極的に実践している」と肯定的な回答70%以上		2	児アで「タブレット端末で自分の考えをまとめることができる」と肯定的な回答70%以上						
			1	教ア「タブレット端末を積極的に実践している」と肯定的な回答70%未満		1	児アで「タブレット端末で自分の考えをまとめることができる」と肯定的な回答70%未満						
家庭・地域連携	教育方針や日常の教育活動の様子などを工夫して分かりやすく伝える取組等を行う。 ○学校情報・児童の安全情報を地域町会保護者に迅速・正確に伝える。	○学校だより、HP、SMS、保護者会、正門掲示板等を活用して、教育活動の見える化を意識して情報を発信していく。	4	教ア「週1回以上情報を発信し、児童の様子を伝えている」と肯定的な回答100%	4	4	保アで「学校の様子が地域や保護者に伝えられている」と肯定的な回答80%以上	4	ホームページやFacebookの更新・学校だより・保護者会の内容の充実・正門掲示板の更新等、教育方針や日常の教育活動の様子などを発信し、児童の様子が伝わるように努めた。	Facebookの更新が、行事だけであると学年によって差が生じるため、日常の学習・生活の様子も伝えられるようにしていく。また、Facebookの利用がない方のために、ホームページにも充実させる。	A	A	Facebook等で学校行事や学習の内容が発信され、子供たちの様子がよく分かってよい。時代の変化とともに行事も変化しているが、残していくものは、残していく、これまでの人々への配慮も忘れないでほしい。
			3	教ア「週1回以上情報を発信し、児童の様子を伝えている」と肯定的な回答80%以上		3	保アで「学校の様子が地域や保護者に伝えられている」と肯定的な回答70%以上						
			2	教ア「週1回以上情報を発信し、児童の様子を伝えている」と肯定的な回答70%以上		2	保アで「学校の様子が地域や保護者に伝えられている」と肯定的な回答60%以上						
			1	教ア「週1回以上情報を発信し、児童の様子を伝えている」と肯定的な回答70%未満		1	保アで「学校の様子が地域や保護者に伝えられている」と肯定的な回答60%未満						
	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動を行う。 ○読み語りボランティア「うめのみ」図書整理ボランティア等地域のボランティアを活用し、読書好きな児童を育成する。	○読み語りボランティア「うめのみ」図書整理ボランティア等地域のボランティアを活用し、読書好きな児童を育成する。	4	教ア「うめのみ活動や図書館の環境が読書意欲を高めている」と肯定的な回答90%以上	4	4	児アで「うめのみ（読み語り）の活動は楽しい」と肯定的な回答80%以上	4	毎月、図書ボランティア「うめのみ」による読み聞かせや読み聞かせ集会を行っていたが、子供たちは楽しみにしている。図書整理ボランティアによる季節を感じる図書室の掲示が読書効果を高めている。	朝読書だけでなく、集会や小梅まつり等、季節や行事に応じた読み聞かせや掲示があり、読書意欲が増す環境である。保護者・地域の方のボランティアに支えられているため、学校司書とも連携している。	A	A	図書ボランティアを活用した読書活動を頻繁に行っていて、素晴らしい。読み語りは、子供たちも楽しみにしているため、ボランティアの方に、感謝し、是非つづけてほしい活動である。
			3	教ア「うめのみ活動や図書館の環境が読書意欲を高めている」と肯定的な回答80%以上		3	児アで「うめのみ（読み語り）の活動は楽しい」と肯定的な回答70%以上						
			2	教ア「うめのみ活動や図書館の環境が読書意欲を高めている」と肯定的な回答70%以上		2	児アで「うめのみ（読み語り）の活動は楽しい」と肯定的な回答60%以上						
			1	教ア「うめのみ活動や図書館の環境が読書意欲を高めている」と肯定的な回答70%未満		1	児アで「うめのみ（読み語り）の活動は楽しい」と肯定的な回答60%未満						
	伝統を受け継ぎ、地域・児童・保護者・教職員と共に思いを共有する。 ○開校105周年記念行事に向けて、準備をする。	○PTAや地域町会主催の行事やイベントに参加することによって、教員が地域との連携を深め、周年行事に向けて連携していく。	4	教ア「PTAや地域町会の行事等に協力している」と肯定的な回答80%以上	4	4	保アで「学校はPTAや地域の行事等に協力している」と肯定的に回答80%以上	4	子供たちのために、PTA、おやじの会等の御理解をいただきながら、学校ができる範囲で活動に協力できた。小梅小囃子等の伝統を受け継ぐことに誇りをもち、児童が活動できている。	PTA、おやじの会等の協力、保護者の皆様の御理解に感謝し、今後も教職員が参加できるようにする。小梅小のよき伝統を受け継ぐことに誇りと責任をもち、後生に伝えられる児童を育てる。	A	A	保護者が分け隔てなく、教員とコミュニケーションが円滑にとれているのは、学校運営で大切なことである。子供たちのために、学校・家庭・地域が連携して取り組める体制を更に推進していただきたい。
			3	教ア「PTAや地域町会の行事等に協力している」と肯定的な回答70%以上		3	保アで「学校はPTAや地域の行事等に協力している」と肯定的に回答70%以上						
			2	教ア「PTAや地域町会の行事等に協力している」と肯定的な回答60%以上		2	保アで「学校はPTAや地域の行事等に協力している」と肯定的に回答60%以上						
			1	教ア「PTAや地域町会の行事等に協力している」と肯定的な回答60%未満		1	保アで「学校はPTAや地域の行事等に協力している」と肯定的に回答60%未満						

○令和6年度 学校経営報告のまとめ（総括）

「子供は楽しく学校に通っている」というアンケート項目に対して93%の保護者が肯定的な意見であった。また、「小梅っ子は、『思いやりのある子』に育っている」91%、「保護者会の内容・説明は適切である」89%の項目に対しても高い評価を得られた。「学校に対する信頼はかなり厚く、その信頼に応えられる教育を推進していかなければならない。その一方で、「友達や地域の人に元気よく挨拶をしている」の項目は、56%で、昨年度の65%より減少している。校内での挨拶は活発であるが、地域に広がっていない実態を受け止め、日頃から見守っていただいている方に挨拶が自然とできるよう、大人が手本となるようにしていく。子供・保護者と地域・教職員ともに「三方よし」の評価を目指して、開かれた学校と家庭・地域との連携を大切にしながら質の高い教育の推進に邁進していきたい。